

越前市立王子保小学校

(様式 4-2 : 平成 28 年度 モビリティ・マネジメント教育 (交通環境学習) にかかわる学校支援制度
実施結果報告書)

実施結果報告書

1. 学習名称： ～ J R 北陸線王子保駅子供駅長『ぼっぼ屋プロジェクト』～					
2. テーマ：駅長の仕事を通して、公共交通の役割と仕事について学ぶと共に、 シチズンシップの醸成をはかる					
3. 実施教科：特別活動					
4. 関連単元：6 年社会、総合的な学習、生活科					
5. 実施単元数：特別活動					
6. 学年	全学年	7. クラス数	13	8. 児童数	354 名
9. 実施内容 ○ 鉄道教室 J R 金沢支社福井鉄道部長から全校児童へ、駅長委嘱状交付と駅長帽の戴帽式のあと、運転士、車掌、鉄道警察隊員による鉄道教室。校下を走る北陸線の運転席から撮影した動画と、本物の警報機を使つての緊急停止のシュミレーション。いたずらで緊急停止ボタンを押して列車を停車させた場合の対応など J R 社員の方が乗客役もつとめての劇で、低学年にも分かりやすく学ぶことができた。 このあと、代表児童が近くの踏み切りに立って、J R 社員、鉄道警察隊員、地元越前警察署員の方々と一緒に、鉄道の安全を訴えるパンフレットの配布活動を行った。 ○ 朝の挨拶運動と列車の見送り活動 全校児童が登校班ごとに、登校後、王子保駅に出向き、朝の挨拶運動と 7 時 51 分発普通列車芦原温泉行きをホームから見送る。 この活動には P T A 役員、公民館長、自治振興会役員も加わり、地域と一体となつてすすめている。29 年度は更に、地域ボランティアも募る予定。 ○ ぼっぼ屋図書館 無人駅の王子保駅舎を、走る列車に見立てて、子供駅長、市中央図書館、越前市ふるさと絵本館による絵本のよみきかせ会。対象は北陸本線を使って王子保駅に来てくださる就学前の子供とその保護者。 ○ 毎週月曜日と年末駅舎大掃除					

10. 学習のながれ：

コンセプト

学習の基本コンセプトは、「本物の体験を通して学ぶ」である。

駅長としての活動は、本物の委嘱状、本物の駅長帽が児童の興味関心を高めその教育的効果は、ごっこ遊びの比ではなく、非常に高いものがある。

安全教室の進行も、本物の車掌による車内アナウンスから始めた。安全な運行について学んで、朝の挨拶運動、見送り活動、清掃活動へとすすめた。

また、幼稚園、2年、6年など、校外学習においてバスを使わずに鉄道を利用し、その中で福井県における鉄道の役割について発達状況に応じて指導した。特に福井県は家庭あたりの車保有台数が全国トップクラスと言うこともあり、公共交通機関に乗り慣れていない子どもも少なくない。幼稚園や2年生は、駅の利用の仕方から学習した。また、幼稚園では、隣の武生駅にも協力を求めて、武生駅舎の見学や駅長室探検などもさせていただいた。

地域との連携

朝の活動に、地域の大人もずっと参加をしてくださることで、「駅」「鉄道」が地域にとって大切なものであり、自分達の活動を地域の大人が応援してくれることを通して、公共交通を大事に守り続けていかなければならないということを感じ取っていることがわかる。また、地域と連携して展開する事で、学校の事情で断ち切れとなるような事態を避けられ、地域と学校双方の継続発展に繋がる。

関係機関との連携

JR西日本金沢支社をはじめ、ぽっぽ屋図書館では、越前市中央図書館、ふるさと絵本館、公民館等と連携して活動を展開している。「本物」というコンセプトがベースにあるが、ウインウインの関係を築くことで、児童にとってより魅力的な活動を創り出す事が出来ている。年末の大掃除でも、3名のJR社員の方が入って下って、ホーム清掃では、通過する列車からの安全確保など、本物の業務と変わらない活動が展開できた。

息の長い活動に

MM教育としての支援は昨年九月からの半年であるが、この支援を足がかりに、県内で一番駅に近い学校としての特色を生かして、地域と共に展開する活動として29年度以降も継続して行っていきたい。特に、北陸新幹線開通に伴う在来線のあり方は、王子保地域の大きな課題でもある。子供駅長活動を通して一市民として公共交通のあり方を考え続ける学習として継続したい。

半年の活動で、ようやく駅を利用する地域の方や、通勤列車の乗客の方々に認知され、挨拶を先にさせていただいたり、窓から手を振ってくださったりする方が増えてきており、その点からも継続する事の大切さを感じている。

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。

地域と進める「ぼっぼやプロジェクト」

越前市王子保小学校

地域と連携した特色ある活動

J R王子保駅子ども駅長
「ぼっぼやプロジェクト」



1 具体的活動内容

学校から100mほどのJ R王子保駅（無人）は、地域交通の要である。6月のPTA文化教養部主催のワークショップで、学校と駅の立地を活かし、J R王子保駅を有用な教育資源と考えるコンセプトが提案された。それを踏まえ、J R西日本と王子保駅の活用について協議し、9月の秋の交通安全週間に全校児童と併設の幼稚園児合わせて386名が王子保駅子ども駅長の委嘱を受けた。そして「ぼっぼやプロジェクト」として、交通環境学習をはじめ、駅を活性化させる活動に登校班、清掃班、委員会などさまざまな縦割り班や、ボランティアを募るなどして取り組んだ。また、地域の活性化を目指し、保護者、見守り隊、自治振興会などと連携して行った。

「朝の挨拶運動」

登校班毎に隔週の月・水・金に通常より少し早く登校し、7時51分発の通勤通学列車の利用客に対して、ホームを中心に挨拶運動を行った。全校児童が約半年で一度は挨拶運動に参加した。挨拶運動には、見守り隊、自治振興会や保護者も付き添った。活動を通して、王子保駅を利用される方とのコミュニケーションが生まれた。

また、列車の中から手を振ってくださる方、運転士や車掌さんなどとも温かい交流ができた。知らない方に大声で挨拶をすることは、児童自身の挨拶のスキルトレーニングにも繋がっていくと考えられる。



「清掃活動」

- ・外掃除の清掃班で、毎週月曜日清掃時間にホーム・連絡橋のくもの巣とりなどを行った。
- ・環境委員会は、月1回の委員会活動で駅舎や待合室などの清掃を行った。
- ・2学期の保護者会の午後、児童や保護者のボランティアを募り、年末大掃除を行った。清掃内容も保護者と一緒に自分たちで考えながら活動した。また、J R職員と一緒にの活動をお願いして、通常業務である安全の確保をしながら、看板やホームなど普段でできない場所の清掃を行うことができた。



「季節のぼっぼや図書館 のりもの絵本読み聞かせ会」

王子保駅だから出来る活動を通して、無人駅の活性化を目指した。乗り物好きな幼児等を対象に、越前市中央図書館の「出かける図書館」やかこさとしふるさと絵本館の「未来への行進号」とも協働で、秋・冬と読み聞かせ会を日曜日に行った。J Rの協力の下、王子保地区以外からも多くの親子が列車で参加した。ホームでの出迎えや絵本の読み聞かせを、幼稚園児や小学生からボランティアを募って行った。イベントでは、J R勤務の保護者が車内アナウンスの語り口で進行したり、本校の図書ボランティアが読み方の指導をしてくださったりした。





さらに読み聞かせの他、秋にはJRより貸与された本物の駅長帽子をかぶっての撮影会を駅舎やホームで行った。また、冬には、中学校と連携して、読み聞かせの間にヴァイオリンクラブのミニコンサートを実施した。王子保地区は弦楽推進地域として、小・中学校にヴァイオリンクラブがある。小・中合同での演奏は、ヴァイオリンの地域への発信にもなった。

「交通環境学習」

このプロジェクトは交通エコロジー・モビリティ財団からも支援を受け、MM（モビリティ・マネジメント）教育として、車所有率の高い福井県における数少ない公共交通機関である鉄道の役割・利点、安全や歴史について学ぶことも目的とした。9月の子ども駅長戴帽式ではJR職員による踏み切り安全教室や、踏切を利用する地域の自動車運転者への安全パンフレット配布などを行った。また、幼稚園や2、6学年の校外学習では、JRを利用し、切符の買い方や電車の乗り降りの体験学習、武生駅の見学などを行った。

「給食週間 駅弁でぐるり日本の旅」

食についての意識を高めると共に、調理員に感謝することを目的に毎年行っている給食週間も、「ぼっぼやプロジェクト」の一環として行った。「駅弁でぐるり日本の旅」のテーマで駅弁風の給食を提供した。保護者の手による列車風に改装した配膳車や、駅弁の包装紙や記念切符形の感想シートなど、児童は電車で旅をしながら食べているようだ大変喜んだ。

以上の取り組みの様子や感想等は、学校便りで保護者に発信するだけでなく、JR西日本の月報の他、公民館便り、市立図書館などプロジェクトに協働で関わってくださった関係機関の会報誌などで紹介された。さらに、福井テレビや丹南ケーブル、中日新聞や福井新聞等多くのメディアにも取り上げられ、地域と進める取り組みを地域に知っていただく機会となった。



2 成果と課題

JR王子保駅での活動は、駅舎業務をボランティアで行う地域の方、運転士や車掌、さらに歩いて鉄道レール点検をする作業員など、気づいていなかった鉄道に関わる多くの仕事を、実際に見て、知ることができた。駅での体験活動を通して、自分達だけでなく、地域の多くの大人が駅を守る活動に関わっていることを学び、駅を大事にする気持ちを育てることにつながっていくと考えられる。また、JRの方と協働でプロジェクトを行い、公共交通機関が果たしている役割に直に触れることで、公共交通機関の利用や交通環境への理解を深めていけると考える。地域貢献活動を通して、児童の地域住民としての意識を育み、地域への愛着心を高めたい。同時に、本物の体験の中で、仕事への意識や自他の自尊感情や自己有用感を育みたい。



さらに、無人駅となって久しい王子保駅を活性化したいという思いは、地域の多くの方が持っている地域の課題である。プロジェクトは、多くのメディアで紹介され、公民館（見守り隊）・地域振興会を始め、多くのPTAの方々の協力を得ることができた。地域の大人から、子ども達と一緒にできる活動を工夫し、更なる支援を行いたいという声も聞こえた。次年度以降も継続して取り組み、JRはもとより公民館、自治振興会、PTAと連携して地域の人的支援体制の強化を図り、地域を巻き込んだ教育活動としていきたい。学校の活性化は地域の活性化なくしては成り立たないと考える。

家族で読もう！ 世界を知ろう！

こどもタイムズ

- 2面 アスリート大百科
- 3面 こども記者レポート
- 4面 大隅さんノーベル賞
- 5面 キッズこだま
- 6・7面 英語のページ
- 8面 日本女子フットサル

vol.297



キ★ラ★リ 学校じまん

王子保小学校

「いってらっしゃい」と朝のあいさつをする王子保小児童たち
 通学通学の人が乗る列車に
 王子保駅

「いってらっしゃい!」。午前8時前、越前市のJR王子保駅ホームに、制帽をかぶった「子ども駅長」の元気いっぱいの声が響きました。

王子保駅から約140mの所にある王子保小は、駅を活用し苦重への愛着を育もうと、10月から「ぼっぼ屋プロジェクト」をスタートさせました。9月末にJR西日本の車掌さんや運転士さんが学校を訪れ、青木祐樹君(6年)ら児童代表に「こども駅長」の委嘱状を手渡しました。地域の人と協力しながら、朝のホームでのあいさつ運動や駅の美化活動に取り組んでいきます。

活動初日の今月3日、制帽をかぶって列車を見送った上野真梨愛さん(5年)は「手を振ったら列車

の中のお客さんが振り返ってくれたのでうれしかったです」とはにかんでいました。

30日には駅の待合室で、児童たちによる「のりもの絵本読み聞かせ会」を開催する予定です。子ども駅長との写真撮影会なども構想中で、無人駅の王子保駅の活性化にもつなげたいと張り切っています。佐竹了校長は「列車に乗ったことがない子どもも少なくないので、環境に優しい鉄道の役割も学ばせていきたい」と話していました。

(文・宇野和宏、写真・杉本蒼夫)

学校DATA

王子保小学校

越前市今宿町 5-14

- ▶児童数354人
- ▶佐竹了校長



フランス美術館展 2016年 11/5[土]-12/25[日]

【休館日】11月21日(月)、28日(月)、12月5日(月)【開館時間】午前9時～午後5時(入館は開館30分前まで)※11月5日(土)は午前11時～
 【観覧料】一般1,400円(前売900円・団体1,200円)、ペアチケット2,300円(前売りのみ)、大生1,000円(団体800円)、中小生600円(団体400円)
 ※団体は20名以上、小学生の方は学生証の提示が必要。常習者手帳等をお持ちの方とその介助者1名半額。
 【主催】フランス美術館実行委員会(福井県立美術館、福井新聞社、福井放送)
 【後援】在日フランス大使館/アンスタイチュ・フランス日本【協力】エールフランス航空、G.H. MAM
 【企画監修】フランス美術館 Exposition produite et gérée par le Musée des Beaux-Arts de la Ville de Reims.
 【企画協力】プレントラスト

前売り券 好評販売中

(前売券販売) 11月4日(金)まで 福井県立美術館、福井新聞社読者センター・県内支社支局、ベル、パリオ、エルパブレイガイド、武生薬市、JTB各店舗(コンビニ未) チケットぴあ(Pコード:767-794)、ローソン(Lコード:53410)、セブン-イレブン(セブンチケット http://7ticket.jp)、e+(イープラス)

福井県立美術館 〒910-0017 福井市文京3-16-1 ☎0776-25-0452 ランス美術館展 福井 🔍 検索

354人のこども駅長拝命



JR北陸本線王子保駅の子供駅長戴帽式が30日行われました。JR西日本福井鉄道部の坂下部長さんから、児童代表二人に委嘱状と駅長の帽子を被せてもらいました。式には、部長さんをはじめ、武生駅長さんや、王子保駅を通る特急や普通列車の運転士、車掌、鉄道警察の皆さん12名と、王子保地区から公民館長さんや区長会長さんなども出席して下さいました。



600m先から確認できる非常ランプがつくんだよ



サンダーバード
王子保行きです。

ほんものだ！！

戴帽式の後には、踏み切りの安全についての教室でした。運転士さんと車掌さん手作りのDVDは、王子保駅付近を通過中の運転席から撮影した動画が編集されており、王子保小の為の特製でした。

また、模擬の踏切では、非常ボタンを押すとまぶしい非常ランプが点滅するところまでを見ることができました。

一瞬で子ども達は電車の中に

「1号車1年1組、2号車1年2組……」本物の車掌さんのアナウンスに大喜びでした。

丁度、お父さんやお母さん世代の方々ばかりで、楽しく、分かりやすくお話をしてくださいました。列車の中で見る車掌さんとはちがって、のりのりの方もいらっしゃいました。

食い入るような子ども達の眼差しは、本物の活動が持つ教育的な力を感じました。

こども駅長 初仕事

安全教室のあとは、低学年の代表の子が、踏み切りを渡る車に、踏み切りの安全のチラシを配る駅長の初仕事でした。踏切にはJRの職員さん、鉄道警察隊、駐在さんと12,3人とパトカーまで出動し、大事件の様相でした。驚かれた運転手さんも、子ども駅長を見ると笑顔で安全のチラシを受け取って下さいました。

委嘱状

越前市立
王子保小学校 殿





JR北陸線王子保駅子供駅長戴帽式



鉄道安全教室



踏み切り事故防止啓発活動



朝の挨拶運動



6年、2年 MM学習





秋の
ぼっぼや図書館



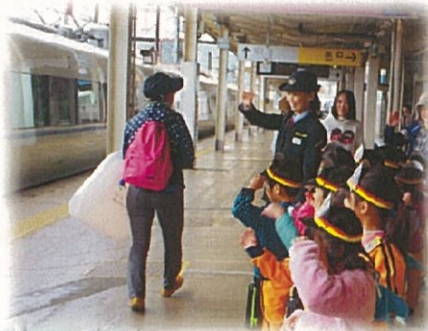
毎週月曜の掃除



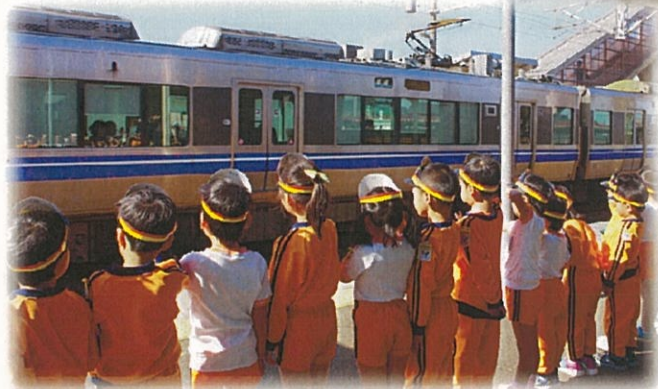
駅舎とホームの年末大掃除



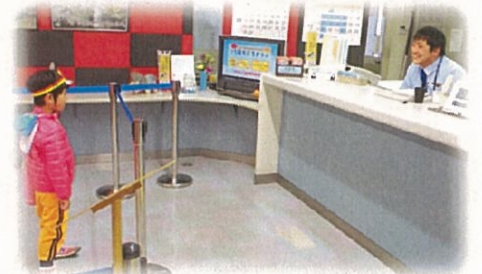
幼稚園もいっしょに朝の挨拶運動



幼稚園 武生駅長室訪問



おっしお Oshio



緑の窓口 代表質問



ぼっぼや冬の図書館



王子保
おうしお Ōshio

そうだ！ JRで行こう！

あつまれ～！！
でんしゃ だいすきっ子

ぽっぽや
図書館

のりものの絵本よみきかせ会

- 1 期 日 平成28年10月 30 日 (日) 午後1時40分～午後2時40分
- 2 会 場 JR北陸本線王子保駅待合室
- 3 定 員 小学校入学までのお子さんとその家族 (25組程度)
- 4 内 容 のりものに関する絵本のよみきかせ及び手遊び
(読み手 子供駅長 王子保小図書ボラ他)
- 5 申し込み 電話にて受け付けます
0778-22-1293 (王子保小学校)
お名前、お子さんの年齢、
住所、連絡先をお聞きます。
- 6 その他 王子保駅までの列車時刻



敦賀	今庄	南条	王子保	武生	鯖江	福井
			12:40 →	12:55 →	13:03 →	13:07
						13:35 ←
						13:31 ←
						13:26 ←
						13:11
						よみきかせ会 13:40～14:40
						15:07 →
						15:12 →
						15:18 →
						15:33
						16:01 ←
						15:47 ←
						15:39 ←
						15:35



『でんしゃでいこう でんしゃでかえろう』作絵 間瀬なおかた より

○越前市中央図書館の「出かける図書館」として、色々な乗り物の絵本のほか、図鑑なども閲覧可能です。
「出かける図書館」では、本の貸し出しもできます。越前市図書館利用カードを当日お持ちください。
図書館利用カードの発行は、図書館でしかできません。予めご了承下さい。
○かこさとしふるさと絵本館より、「未来への行進号」もやってきます。



王子保は
ゆきのはらえき
みただよ



窓から見える
季節を探そう



『まぼろしのゆきのはらえき』作・絵 間瀬なおかた より

ぼっぼや図書館タイムスケジュール

時間	活動内容	担当者	準備物
	28日(金)祭用ベンチ公民館より借用	佐竹、田倉、	
12:00	会場設置	佐竹、田倉、	ベンチ 脚 断熱シート(幼)
12:40	子ども駅長 小学校に集合	佐竹、田倉、	駅長帽子
12:50	子ども駅長リハーサル 読みきかせ、司会、他		ポータブルマイク2、スタンド2

駅舎前に簡易テント 1

時間	活動内容	担当者
13:07	下り列車到着	担当者打ち合わせ 小学校 JR 図書ボラ 公民館 中央図書館
13:35	上り列車到着	
13:40	ぼっぼや図書館 開館	駅長アナウンス

おうしお~おうしお~。
ぼっぼや図書館で~す。
ぼっぼや図書館はこちらで~す。

汽笛一声 チャイム

本日はJR西日本をご利用いただきまして、また、おうしおぼっぼや図書館ようこそお越し下さいまして、誠にありがとうございます。
このあと2分少々で開館でございます。
本日、ぼっぼや図書館、全席自由席となっております。混み合います際には中ほどまでつめてお座りいただきますよう、また、携帯電話等のご使用については周りのお客様の迷惑にならないよう、予めお願い申し上げます。
なお、本日の図書館、1号車子ども駅長、2号車中央図書館、3号車ふるさと絵本館の順に進行してまいります。本日の進行は、JR西日本の安藤と、王子保子ども駅長の〇〇、〇〇、〇〇がつとめます。それでは、どうぞ楽しい絵本のたびをお楽しみ下さい。
1号車は、ことも駅長によります読みきかせです。

出発進行!(青木)

汽笛一声 チャイム

みなさんこんにちは。
一冊目は、でんしゃにのってです。
二冊目は、うんこちゃんです。
続いての絵本は、電車でいこうです。

汽笛一声 チャイム

第二部は越前市中央図書館です。では、おねがいします。

中央図書館

ありがとうございました。
今日は図書館から乗り物の絵本も沢山もってきていただいています。カードがある方は借りることも出来ます。

臨時停車です!(青木)

臨時停車です。
停車中、駅長さん撮影会をします。

汽笛一声 チャイム 出発進行!【青木】

第三部はふるさと絵本館です。今日は外に、未来への行進号も来ています。

ふるさと絵本館

汽笛一声 チャイム

第一部(1号車)
子ども駅長・図書ボラによる読みきかせ
○『でんしゃにのって』
(とよたかずひこ)
○『うんこちゃん』
(のぶみ)
○『でんしゃでいこう』

第二部(2号車)
中央図書館による読みきかせ
○『やまこえ のこえ かわこえて』
(こいでやすこ)
○『はげばけ はっば』
(藤本ともひこ)

第三部(3号車)
ふるさと絵本館による読みきかせ
○『あおくんぼっぼあかくんぼっぼ』
紙芝居 (かこさとし)
○手遊び
○『たっくんひろくんのちょうとつ』

14:30 駅長さん撮影会
14:40 閉館 子ども駅長よりお礼と次回の案内

15:07 下り列車見送り
15:35 上り列車見送り

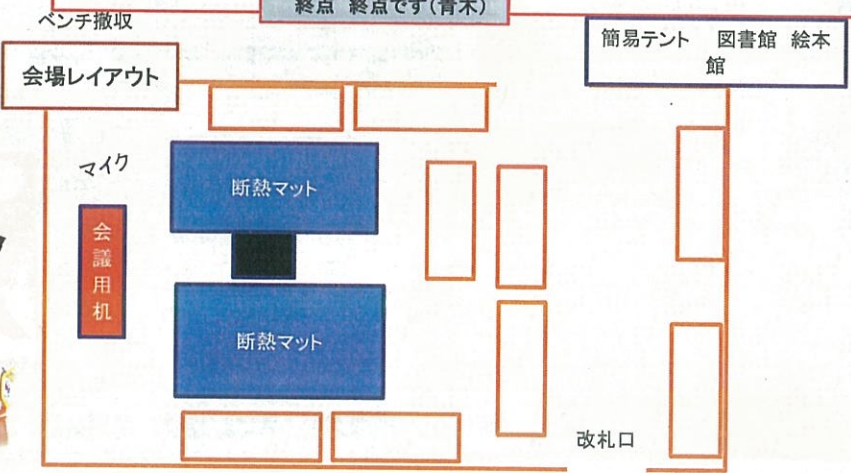
安全確認
改札口外 構内

上坂 小嶋 橋本

ふるさと絵本館
中央図書館
閲覧
担当
橋谷
担当
福田

大変長らくのご乗車お疲れ様でした。まもなく終点です。
お客様にはぼっぼや図書館、この後のご案内を申し上げます。次の開館は二月を予定しております。季節感あふれる冬ならではの絵本の紹介をしております。どうぞ、次もお友達などお誘い併せの上、来館されますことを心よりお待ちしております。本日はJR西日本、ぼっぼや図書館をご利用いただきましてありがとうございました。

終点 終点です(青木)



JR北陸本線王子保駅 子供駅長～ぽっぽやプロジェクト～

越前市王子保小学校

王子保
おうしお Ōshio

そうだ！ JRで行こう！

あつまれ～！！
でんしゃ だいすきっ子

ぽっぽや
図書館

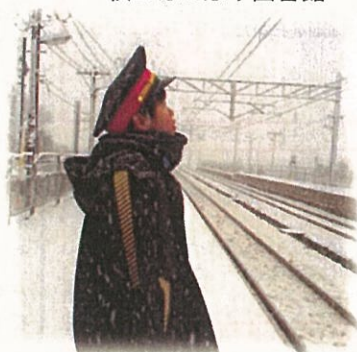
冬

のりものの絵本よみきかせ会

- 1 期日 平成29年2月 12 日 (日) 午後1時40分～午後2時40分
- 2 会場 王子保小むつみホール
JR北陸本線王子保駅より80m
- 3 定員 小学校低学年までのお子さんとその家族
- 4 内容 のりものに関する絵本のよみきかせ及び手遊び
(読み手 王子保小子供駅長他)
- 5 申し込み 電話にて受け付けます
0778-22-1293 (王子保小)
お名前、お子さんの年齢、
住所、連絡先をお聞きます。
- 6 その他 王子保駅までの列車時刻



秋のぽっぽや図書館



敦賀 今庄 南条 **王子保** 武生 鯖江 福井

12:40 → 12:55 → 13:03 → 13:07

13:35 ← 13:31 ← 13:26 ← 13:11

よみきかせ会 13:40～14:40

15:07 → 15:12 → 15:18 → 15:33

16:01 ← 15:47 ← 15:39 ← 15:35

○越前市中央図書館の「出かける図書館」として、色々な乗り物の絵本のほか、図鑑なども閲覧可能です。「出かける図書館」では、本の貸し出しもできます。越前市図書館利用カードを当日お持ちください。図書館利用カードの発行は、図書館でしかできません。予めご了承ください。
○かこさとしふるさと絵本館より、「未来への行進号」もやってきます。

王子保は
ゆきのはらえき
みたいだよ

窓から見える
季節を探そう



駅長さん撮影会



😊 JR おうしお
ぽっぽやとしゃかん行き
冬の
よみきかせ会
H29. 2. 12

ぽっぽや図書館タイムスケジュール

時間	活動内容	担当者
	28日(金)祭用ベンチ公民館より借用	佐竹、田倉、
12:00	会場設営	佐竹、田倉、
12:40	子ども駅長・ヴァイオリン 小学校に集合	佐竹、田倉、内田
12:50	子ども駅長リハーサル 読みきかせ、司会、他	
13:07	下り列車到着	
13:35	上り列車到着	
13:40	ぽっぽや図書館 開館 駅長アナウンス	

駅よりむつみホールへの案内表示

おうしお~おうしお~。
ぽっぽや図書館で~す。
ぽっぽや図書館はこちらで~す。

汽笛一声 チャイム

本日はJR西日本をご利用いただきまして、また、おうしおぽっぽや図書館ようこそお越し下さいまして、誠にありがとうございます。
このあと2分少々で開館でございます。
本日、ぽっぽや図書館、全席自由席となっております。混み合います際には中ほどまでつめてお座りいただきますよう、また、携帯電話等のご使用については周りのお客様の迷惑にならないよう、予めお願い申し上げます。
なお、本日の図書館、1号車子ども駅長、2号車中央図書館、3号車ふるさと絵本館の順に進行してまいります。本日の進行は、JR西日本の安藤と、王子保子ども駅長の〇〇、〇〇、〇〇、〇〇がつとめます。それでは、どうぞ楽しい絵本のたびをお楽しみ下さい。
1号車は、こども駅長によります読みきかせです。

出発進行!()

汽笛一声 チャイム

みなさんこんにちは。
一冊目は、ねずみのでんしゃです。
二冊目は、まぼろしのゆきのはらえきです。

汽笛一声 チャイム

第二部は越前市中央図書館です。では、おねがいします。

中央図書館

ありがとうございます。
今日は図書館から乗り物の絵本も沢山もってきていただいています。カードがある方は借りることも出来ます。

臨時停車です!()

汽笛一声 チャイム **出発進行!【青木】**

臨時停車です。
ヴァイオリンクラブの演奏です

第三部はふるさと絵本館です。今日は外に、未来への行進号も来ています。

ふるさと絵本館

汽笛一声 チャイム

第一部(1号車)
子ども駅長・図書ボラによる読みきかせ
○『ねずみのでんしゃ』(山下明生)
○『まぼろしのゆきのはらえき』(間瀬なおかた)

第二部(2号車)
中央図書館による読みきかせ
○手遊び『かみなりどんがやってきた』
○『おはなしのもうふ』(フェリーダ・ウルフ)

王子保小ヴァイオリンクラブ演奏

第三部(3号車)
ふるさと絵本館による楽しい時間

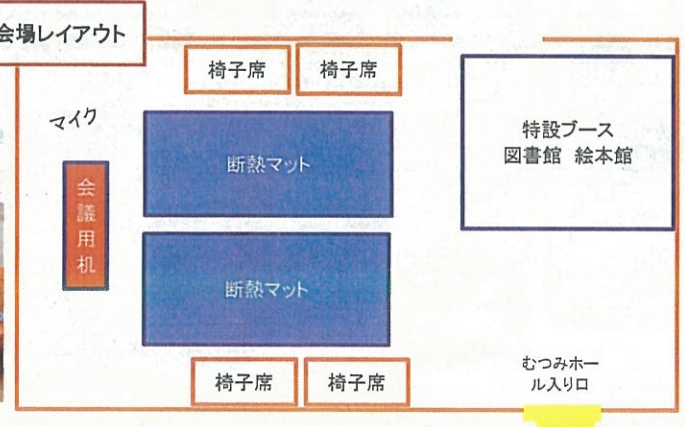
紙芝居公演
『あおくんぽっぽあかくんぽっぽ』
・からすのパンやさん変身衣装貸出
・昔のおもちゃ貸出

14:30 駅長さん撮影会
14:40 閉館 子ども駅長よりお礼と次回の案内
15:07 下り列車見送り **安全確認**
15:35 上り列車見送り



大変長らくのご乗車お疲れ様でした。まもなく終点です。
お客様にはぽっぽや図書館、この後のご案内を申し上げます。次の開館は6月を予定しております。季節感あふれる初夏ならではの絵本の紹介をまいります。どうぞ、次もお友達などお誘い併せの上、来館されますことを心よりお待ちしております。本日はJR西日本、ぽっぽや図書館をご利用いただきましてありがとうございました。

終点 終点です()



改札口外 構内

ベンチ撤収

2016年(平成28年)10月1日(土曜日)

王子保小児童が駅長

越前市 JR無人駅盛り上げ



朝のあいさつ、清掃活動

越前市今宿町の王子保小学校の児童たちが十月から、近くの無人駅「JR王子保駅」の駅長となり、乗客の見送りや朝のあいさつ活動に当たる。地元の幼稚園児や地域住民らと一緒に、無人駅を盛り上げていく。三十日には同校で、JRが駅長の帽子を児童に渡す式典があった。

同校PTAが提案。学校から百円ほどにある王子保駅を地域資源と位置付け、子どもたちが駅に親しみ、駅を大切にする気持ちを育むのが狙い。JR側に相談したところ、快諾され、全

坂下長一部長(左)からJR王子保駅の駅長の帽子をもらう出口望叶さん(右)、青木祐樹君。越前市王子保小学校で

校児童二百五十人が駅長の委嘱を受けることになった。

一連の取り組みは、名付けて「ぼっぼ屋プロジェクト」。三日から、隔週で週三回、児童が駅の利用者に朝のあいさつをするほか、駅舎を清掃したり、待合室で絵本の読み聞かせをした。

式典では、JR西日本金沢支社福井地域鉄道部の坂下長一部長が、帽子や委嘱状を児童代表の青木祐樹君(二と)と出口望叶さん(二こ)にいずれも六年に手渡した。

鉄道会社の運転士になるのが夢という青木君は「駅長になれてうれしい。無人駅だけど、もっとにぎやかになるように頑張る」と意気込んでいた。

式典後、児童やJR金沢支社の社員らが学校近くの踏切で、踏切事故に気を付けるよう呼び掛けるパンフレットなどを住民らに配った。(山口育江)

坂下福井地域鉄道部長から駅長の帽子をかぶせてもらう
青木君(右)と出口さん(中央)＝30日、越前市王子保小



越前市王子保小は近くのJR王子保駅を教育的資源と位置づけ10月から、列車の見送りなどを行う「ほっほプロジェクト」をスタートする。30日には、「おっしお子ども駅長」の戴帽式が同校であった。

(中坪佑香)

越前市
王子保小

地元駅で地域と交流

戴帽式 朝、隔週で活動

学校から約140名の同駅を活用して古里への愛着を育み、鉄道の役割や歴史について学ぼうと企画。児童は朝、駅長の帽子をかぶり同駅舎前で利用客にあいさつしたり、ホームで列車を見送ったりする。住民による「見守り隊」と連携して地域との交流を深め、多数の児童が高校進学時に利用する同駅を大切にすることを育てる狙いもある。

この日は、JR西日本福井地域鉄道部の坂下長一部長や武生駅の渡邊祐次駅長をはじめとする社員や、県警鉄道警察隊が同校を訪問。坂下部長が

児童代表の青木祐樹君(6年)に委嘱状を手渡し、青木君と出口望叶さん(同)に駅長の帽子をかぶせた。青木君は「運転士になるのが夢。朝から列車が見られるのがうれしい」とこぼり。出口さんは「見送りが楽しい。早起きも頑張れそう」と笑顔だった。

また、車掌や運転士が仕事内容や踏切の非常停止などについて説明。また、車掌や運転士が「特急サンダーバード、王子保小学校行きです」という予定。佐竹了校長は「JRの駅に近い王子保小でしかできない体験をして、この地区に生まれた自分の根になる部分を育んでほしい」と話していた。

児童駅長お見送り

この日は、JR西日本福井地域鉄道部の坂下長一部長や武生駅の渡邊祐次駅長をはじめとする社員や、県警鉄道警察隊が同校を訪問。坂下部長が

2016年(平成28年)10月1日(土曜日)

Kanazawa 11

平成28年度行動指針

踏み出した「輝かしい一歩」を力強く前に進め、
北陸発展の「礎」を築こう

JR Communication Magazine
2016 Vol.353

10月30日 小松ドーム
約800人が参加



タイムトライアル玉入れ



お菓子取り競争



大玉運び



優勝 直轄Bチーム (金沢列車区・金沢新幹線列車区)

なって」仕事をしよう

なっていたくために —



お客様との出会いを大切に♥

王子保駅におうしお子ども駅長が誕生！

越前市立王子保小学校では、学校から近い王子保駅を活用し鉄道の役割や歴史を学びながら、鉄道とふるさとへの愛着を子どもたちに育ててもらおうと「ぼっぼ屋プロジェクト」を企画し、福井地域鉄道部と一緒に取り組んでいます！



赤い線が
駅長の印



354人の子ども駅長が誕生

9月30日に行われた戴帽式



踏切安全教室

児童の7割が踏切を通行し通学。運転士や車掌の説明を聞きながら「踏切非常ボタン」を体験！

“いたずらはしない”
とみんなで約束



列車のお見送り

駅舎前で朝の挨拶運動をした後、地元の方と一緒に手を振ってお見送り♪



お巡りさんも一緒にみんなで敬礼！



踏切事故防止 啓発活動

低学年の子ども駅長が、ドライバーや行人に、「気をつけて下さい」と踏切安全のチラシを配布！

CS考動宣言

「私たちの考動のよりどころ」を示したもの

1. 安全をすべての考動のベースにします
2. チームで取り組みます
3. まず、お客様の立場で考えます
4. 気づいて考動します
5. 基本を大切にし、知恵と技を磨きます

2017年(平成29年)1月28日(土曜日)

駅弁給食どうぞ

市小
前子保小

調理員、駅長にふんし提供 越王

調理員が駅長の帽子まわり、列車風に飾り付けた台車で「駅弁」を提供する給食が27日、越前市王子保小であった。調理員と児童の交流の場を設けようと年に1

回の給食週間に合わせて実施。今回は、昨秋に同校が始めた「ほっぼプロジェクト」で見聞が列車の員送りなどをしていることから、列車にちなんで函巻にした。

2017 12:35

Oshiosyo

ほっぼやプロジェクト線

▲ 給食室

小児80円 お残し禁止

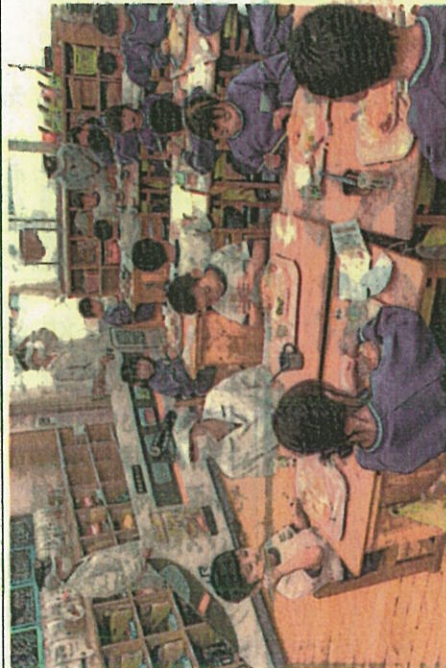
下車前途無効

王子保小

29. -1. 27

福井新聞

23日から「駅弁ぐるのまのすしなどに見立り日本の旅をテーマに、てな給食を提供。二つある列車の飾りはそれぞれ



列車に見立てた台車で運ばれてきた給食を味わう児童＝27日、越前市王子保小

れ縦約70センチ、横約320センチで、保護者が手作りした。

最終日の27日は、事前アンケートで人気を集めた同市名物のボルカライスの献立。台車を覆った列車も献立に合わせて一部デザインを変えた。

調理員が来ると、児童は教室を飛び出して駆け寄り来た「と大歓声。調理員に給食の中身を尋ねたり、一緒に敬礼したりと楽しそう。1年生の中西心葉さんは「調理員さんにおいしい給食が大好きと言いたい」と笑顔で話していた。

(中塚佑香)

2017 12:35

Oshiosyo

ほっぼやプロジェクト線

▲ 駅長室

小児80円 家内安全

下車前途無効

王子保小

29. -1. 27

2017年(平成29年)1月29日(日曜日)

『小さな芸術家』

★☆☆☆

自慢の作品披露

越前市、園児160人

越前市の公立幼稚園児の作品を一堂に集めた「小さなアーティスト展」が28日、市文化センターで始まった。個性あふれる多彩な作品が並んでいる。写真。29日まで。

市公立幼稚園後援会連



合会が主催。幼稚園間の連携を深め、日ごろの活動を広く知ってもらおう

と毎年開いている。5園の3〜5歳児約160人が出品した。

幼稚園ごとに設けたブースに絵や工作物を展示。王子保育園は、工作で電車や駅を作品にしていた。

空き箱や色紙を用いたカラフルな電車や、水族館、動物園のある駅なども夢がいっぱい。

このほか、紙粘土で作

ったケーキやおもちゃの詰まった宝箱、木の実や枝を組み合わせた工作、折り紙を貼ったカレンダーなど楽しい作品が並び、訪れた人の目を引いていた。

会場には、親子で遊んだり、子育てについて語り合う「わくわく広場」も設けられている。

(伊与登志雄)

子供さんと一緒に読んでください！難しいところはかみくだいて・・・

校長室より

春風接人

No. 25 給食週間特別号
平成29年1月30日
越前市王子保小学校

開くドアにご注目下さい～



「大好物でしょ～」 やるキング

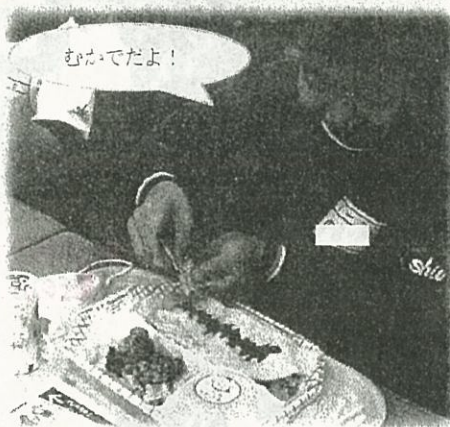


や～！

23日(月)～27日(金)は、給食週間でした。今年のテーマは、子供駅長にちなみ、「駅弁でぐるり日本の旅」でした。

新幹線に模様替えされた台車は、電光掲示板に献立が示され、ドアが開くとご当地キャラが献立をもって登場しました。

いつもは、台車が来てもよそ見できませんが、この週だけは特別でした。列車が入ると、みんなが周りを取り囲みました。裏から見ると、洗濯機の入っていたダンボール。身近なものから出来ているんです・・・。



むか～だよ！



- いかめしふう
 - ますずしふう
 - かしわめし
 - ぎゅうにくどん
 - ボルガライス
- 行き先掲示が 献立に



おいしい～お！



最終日は、福井テレビ、丹南ケーブル、福井新聞、日刊福井とマスコミ各社が取材に入りました。配膳から喫食までを取材した低学年のオープンスペースは、帰省客でにぎわう、お盆の東京駅のようでした。ケチャップで「イヤイヤちゃんを描きました」や、「列車に乗ってる気分！」など、テレビ受けするコメントをさらっと言う子ども達のニュース映像に、夕方の職員室も盛り上がりました。



今年は、握手券がないと...



通し番号入りの握手券の裏には調理員さんからのメッセージが...。感想シートは提出してしまうので、子ども達に残るものをと、小泉さんが作っていただきました。



おのこしと
無賃乗車はダメ〜



インフルエンザも下火になった15日(水)に、調理員さんとの握手会がお昼休みに開かれました。今年は、事前に握手券を用意して、臨時改札口でスタンプを押してもらって会場に入りました。給食週間のお弁当のお面をかぶった調理員さんも子ども達も、みんな笑顔でした。お休みだった酒井調理員さんは、お面で登場でした...。「あれっ?酒井さん、太った?」



長蛇の列の改札口



「駅からむつみホールまで、雪の中を歩いたので

そのまき冬の絵本の世界に入れました...」(ぼっぼや図書館感想より)

○とても緊張したけど、お客さんが笑顔で聞いてくれたので嬉しかったし、大きな達成感を味わえた。春から中学生。時間があったら地元の為にボランティアとして参加したい。

○読みみかせにヴァイオリン演奏。寒い冬なのにとっても温かい気持ちになりました。親子で楽しめる会っていいですね。

○ヴァイオリンの演奏を聞いて、少しうるっときてしまいました。

○JRに乗ってここまで来ることが久しぶりで、ワクワクしました。

○とてもほっこりした空間でした。



冬のぼっぼや図書館感想

○とてもすてきな企画で感動しました。司会進行も面白く楽しく、流れを感じる1時間でした。これからも続けていって下さいネ♪

○駅のホームでお客さん方を子供駅長が出迎えるという粋な心遣いがとてもステキでした。優しさと温かさが寒さを忘れさせる光景でした。

○子供にも親にも本当に楽しい温かい時間になりました。

○わが子どもとても楽しんでいました。初めて来ましたが、きてよかったです。こんな所で学習できる王子保小の子ども達は幸せだなと思いました。

先生の通知簿 27 ランドセル

「Sも6年間、大事に使うように...」 S少年が入学した時、ランドセルへのミッションが先の言葉でした。兄はその春、6年間たくたくに使い込みながら卒業していました。しかし、とにかく運動量の多かったS少年は、4年生の半ごろに背中中のベルトを止めているところが壊れてしまいました。父が針金で直してくれたのですが、ほんの少し針金の先が背中中に当たって、ジャンパーの背中中は、擦れて白くなっていました。それと、入学式の朝に、父がマジックで名前を書いてくれたこと...。ランドセルの思い出は二つ。父の思い出と幼いS少年の思い出は重なります。ようこそ1年生でうれしそうにランドセルを背負わせてもらっている様子を見ながら、思い出していました。4月からの1年生も、辛いこと、うれしいこと、悲しいことたくさんあることでしょう。

思い通りになんてならないことの方が多い。大人たちはそれを知っているから、

せいっぱいの応援をしたいのです。

ランドセルの中が、楽しい思い出でいっぱいになりますように...。がんばれ!

